



# 令和8年度 みやぎゼロカーボン アワード

## 候補者募集

宮城県では、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとすることを目指しています。

その実現に向けて、顕著な功績のあった個人または団体を「みやぎゼロカーボンアワード」として表彰します。

そして、優れた取組の内容を周知し、本県における地球温暖化対策を推進します。



募集  
期間

2026 7/1 (水) ▶ 9/25 (金)  
当日消印有効





### 対象分野

「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の取組項目

- ①家庭や事業所での省エネ活動
- ②再エネ設備や省エネ設備等の先進的な導入
- ③二酸化炭素の排出を低減する製品・技術の開発
- ④森林・海洋環境の保全
- ⑤3R+Renewableの推進
- ⑥気候変動の影響による被害を回避・低減する適応策の導入・実践
- ⑦地球温暖化対策に関する普及啓発や環境教育

皆さまからのご応募を  
お待ちしております

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 公式Web・SNS・アプリ


[公式ポータルサイト](#)

[公式X \(旧Twitter\)](#)

[公式Instagram](#)

[環境配慮行動促進アプリ ecoチャレンジみやぎ](#)


令和  
8年度

# みやぎゼロカーボンアワード 募集案内

表彰  
対象者

- 宮城県内で地球温暖化対策に資する活動を行うもののうち、次の①から④に該当する個人又は団体
  - ①宮城県内に住所を有する個人
  - ②宮城県内に事業所又は事務所を有する団体（法人格の有無は問わない。）
  - ③宮城県内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校及び専修学校
  - ④その他知事が特に必要と認めるもの
- 宮城県内において上記①から④と共同で地球温暖化対策に資する活動を行う個人又は団体のうち代表者が上記①から④であるもの

応募  
方法

- 応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送又はEメールにより下記の応募先へ1部提出してください。  
(応募用紙は、県環境政策課のホームページからダウンロードできます。)  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/zerocarbonaward.html> ▶  
※持参の場合：平日の午前9時から午後5時まで受付。 ※郵送の場合：当日消印有効
- 自薦・他薦を問いませんが、他薦の場合は被他薦者の承諾を得た上で推薦してください。



応募・  
問合せ先

宮城県 環境生活部 環境政策課 省エネ・再エネ推進班  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

電話 ▶ 022-211-2664 Eメールアドレス ▶ [kankyoss@pref.miyagi.lg.jp](mailto:kankyoss@pref.miyagi.lg.jp)

Q

受賞者はどのように  
決定されますか？

A

有識者等による選考会を開催し、「最優秀賞」及び「優秀賞」の受賞者を決定します。

Q & A

Q

受賞するとどのような  
メリットがありますか？

A

- ・環境イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」内で表彰式を開催し、賞状と楯を授与します。
- ・上記イベントや、県のHP、SNS、広報誌、パネル展示等で、取組を広く紹介するほか、受賞者には継続してPRの場を提供します。
- ・環境省が実施する「気候変動アクション環境大臣表彰」へ県が推薦を行います。

## 過去の受賞者 (敬称略)

令和  
7年度  
受賞

日東電工株式会社  
東北事業所

CO<sub>2</sub>ゼロエミッション工場の取組

自家再生可能エネルギーを最大限に活用したCO<sub>2</sub>排出量ゼロの新工場を整備。太陽光発電によるグリーン水素製造や、液化水素から水素ガスを製造し、水素燃料100%のボイラーで蒸気を生成する国内初のシステムを構築。見学受け入れやセミナー等による普及啓発にも積極的に取り組む。



令和  
6年度  
受賞

株式会社東北バイオフード  
リサイクル

食品リサイクルによるカーボン  
ニュートラル実現に向けた取組

飲食店等において、食品廃棄物のメタン発酵による発電を利用する「電力リサイクルグループ」や、副産物による肥料を使用した農作物を利用する「農業リサイクルグループ」を構築し、大幅な二酸化炭素削減を実現。環境学習の支援にも積極的に取り組む。



令和  
5年度  
受賞

株式会社一の坊

限りある地球資源を大切に  
する温泉宿のSDGsへの取組

温泉廃熱利用、建物・設備の省エネ化、フードロス削減など、二酸化炭素削減に寄与する多方面の取組を展開。全社一丸となってPDCAサイクルにより二酸化炭素削減に取り組むシステムを構築。

